

ブロック塀等耐震改修助成事業

都市整備部建築行政課
電話:457-2473

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	8,456	2,848	0	0	5,608

目的	地震発生時におけるブロック塀等の倒壊等を未然に防止することにより、市民の安全確保や震災時の緊急交通及び救急活動の円滑化を図り、安全で災害に強いまちづくりを推進する。																		
背景	平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震によるブロック塀倒壊事故を受け、補助金申込が急増している。 ※平成30年12月末現在申込件数 374件 (参考:平成29年度 32件)																		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生時に倒壊、転倒の危険性のある道路に面するブロック塀等を撤去、または緊急輸送路等に面したブロック塀等を撤去して安全な塀に新設する場合、撤去または新設に要した費用の一部を助成するもの。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>補助要件</th> <th>補助額・率</th> <th>H31見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去</td> <td>緊急輸送路、通学路等に面するブロック塀等を撤去する場合</td> <td>撤去工事費と基準額のいずれか少ない額の2/3 または 1/2 以内(※)。上限あり</td> <td>708万円 (100件)</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>緊急輸送路、通学路等に面するブロック塀等を撤去し、安全な塀を新設する場合</td> <td>新設工事費と基準額のいずれか少ない額の2/3 以内。上限あり</td> <td>137.6万円 (8件)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>845.6万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※撤去事業の補助率1/2は、緊急輸送路、通学路等以外の道路に面するブロック塀等。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度から、緊急輸送路や指定通学路等沿いのブロック塀の撤去、改善に対しては国庫補助制度が新設される。 			事業	補助要件	補助額・率	H31見込	撤去	緊急輸送路、通学路等に面するブロック塀等を撤去する場合	撤去工事費と基準額のいずれか少ない額の2/3 または 1/2 以内(※)。上限あり	708万円 (100件)	新設	緊急輸送路、通学路等に面するブロック塀等を撤去し、安全な塀を新設する場合	新設工事費と基準額のいずれか少ない額の2/3 以内。上限あり	137.6万円 (8件)	合計			845.6万円
事業	補助要件	補助額・率	H31見込																
撤去	緊急輸送路、通学路等に面するブロック塀等を撤去する場合	撤去工事費と基準額のいずれか少ない額の2/3 または 1/2 以内(※)。上限あり	708万円 (100件)																
新設	緊急輸送路、通学路等に面するブロック塀等を撤去し、安全な塀を新設する場合	新設工事費と基準額のいずれか少ない額の2/3 以内。上限あり	137.6万円 (8件)																
合計			845.6万円																



平成28年熊本地震による
ブロック塀の倒壊

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	地方自治・ 都市経営	1,453,652	6,799	1,069,300	200,000	177,553

※関連課 アセットマネジメント推進課(電話:457-2533)

※国の補正予算対応、繰越明許費 2月補正計上 294,689千円、当初計上 1,453,652千円、
合計 1,748,341千円

目的	「公共建築物長寿命化計画《一般施設》」に基づき、市が保有する公共建築物（個別に長寿命化計画を策定する施設等を除く）の改修を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図り、長期的な財政負担を軽減・平準化し、市民への安全で快適な建築物を提供する。
背景	建築後 40 年が経過する公共施設の面積は、平成 29 年度の約 25%から平成 36 年度には約 52%に急増することが想定される。
事業内容	<p>1 施設劣化調査 51,029 千円（当初）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設劣化状況を調査し、長寿命化工事の優先度を把握、検討 石綿含有調査：57 施設、外壁打診調査：7 施設、外壁等劣化調査：58 施設、大規模劣化調査：43 施設 <p>2 小規模改修工事 1,257,060 千円（2月補正 294,689 千円、当初 962,371 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位（受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ、屋根、外壁）の改修・更新 （当初）設備：鴨江分庁舎他22施設、屋根：舞阪幼稚園他38施設 外壁：雄踏文化センター他23施設 （2月補正）屋根：砂丘小学校他4施設、外壁：北部中学校他10施設 <p>3 大規模改修工事 439,475 千円（当初）</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築後 40 年を経過する建築物を対象とした大規模な改修工事 工事：中ノ町保育園、寺島保育園、権現谷保育園、南保育園 設計：佐鳴台保育園、三ヶ日保育園、西消防署湖東出張所、北消防署三ヶ日出張所、南消防署白脇出張所 <p>4 その他事務費 777 千円（当初）</p>



小規模改修工事(屋根改修)





小規模改修工事(外壁改修)

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	21,115,776	5,123,471	5,262,300	19,604	10,710,401

※関連課 道路保全課(電話:457-2425)、河川課(電話:457-2451)

目的	道路及び河川の老朽化対策、適正な維持管理、近年頻発する自然災害への対策を確実に実施するとともに、拠点間ネットワークに資する道路及び河川の整備を実施することにより、市民の安全・安心・快適な生活基盤づくりを進める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市は政令指定都市の中でまれにみる道路延長、橋りょう数等を管理しており、近い将来、これらが一斉に更新時期を迎える。 近年、増加傾向にある水害対応の必要性が高まっている。
事業内容	<p>1 維持修繕事業 市民の安全・安心対策に重点配分 13,456,353 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋りょう長寿命化事業 1,912,870 千円 道路・河川の小規模要望事業 2,005,720 千円 道路・河川の中規模要望事業 1,969,352 千円 原田橋整備事業 691,000 千円 交通事故ワースト1脱出事業 646,400 千円 橋りょう耐震補強事業 394,000 千円 <p>2 整備事業 拠点間ネットワークの構築に資する事業に重点配分 6,597,423 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路整備事業 1,519,800 千円 三遠南信自動車道関連整備事業 1,029,000 千円 スマートインターチェンジ関連整備事業 531,600 千円 <p>3 国直轄道路事業負担金 1,062,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 三遠南信自動車道整備((仮称)水窪 IC~佐久間川合 IC 間、青崩峠道路) 1,000,000 千円 国道1号交通安全施設整備等 62,000 千円
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宮口バイパス車道部整備状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>九領川改修状況</p> </div> </div>

中規模要望事業

土木部道路企画課
電話: 457-2427

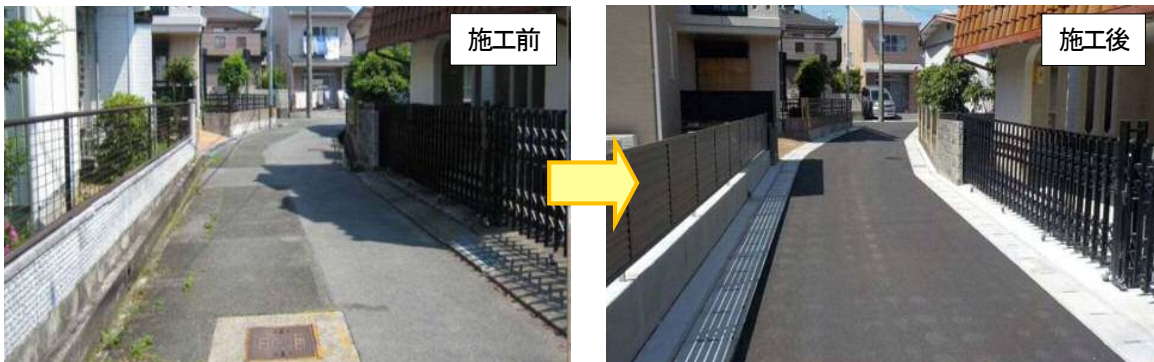
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	1,969,352	11,000	476,800	0	1,481,552

※関連課 道路保全課(電話:457-2425)、河川課(電話:457-2451)

目的	道路・河川事業の中規模要望事業の未実施件数が累積していることから、優先度の高い箇所を集中的に実施して未実施事業を解消し、市民満足度の向上を図る。
背景	道路及び河川に対する地域からの要望のうち、事業費 300 万円から 5,000 万円の中規模要望における優先度判定「高」の平成 30 年 6 月末現在の未実施件数は 530 件、残事業費は約 84 億円となっている。
事業内容	<p>1 方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費が300万円以上3,000万円までの比較的短期間で実施可能な箇所を重点的に実施し、概ね3年間を目途に未実施事業の解消を図る。 ・ 豪雨時の道路冠水対策等、緊急性が高い事業を重点的に実施。 ・ 事業費が3,000万円以上で約3年から5年を要する長期実施事業は、予算平準化のため計画的に実施。 <p>2 平成31年度実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短期実施事業 169件 1,508,851千円 (道路147件 1,267,751千円、河川22件 241,100千円) ・ 長期実施事業 26件 460,501千円 (道路 24件 370,501千円、河川 2件 90,000千円)

中規模要望事業の事例



側溝改良（排水不良）により、道路冠水が解消

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	16,078	0	0	0	16,078

目的	道路整備における整備方針の策定や、経済活動及び観光等への波及効果(ストック効果)の把握、渋滞等交通量の把握等により、道路整備事業の円滑化及び市民への事業の周知を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末には(仮称)館山寺スマートインターチェンジ(以下、SIC)や三遠南信自動車道(佐久間川合IC~東栄IC)が供用開始となる。 国道1号浜松バイパスでは、遠州大橋が平成31年9月に無料化される予定であり、掛塚橋通過交通の転換が予測される。 (仮称)浜松三ヶ日・豊橋道路は、求められる機能のサービス水準と概ねの起終点・経過地が決定し、現在は概略ルートや構造検討を進めている。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 浜松地区 SIC 等開通効果調査 8,520 千円 (仮称)館山寺 SIC や三遠南信自動車道開通効果把握のための事後調査 渋滞長調査・交通量調査、観光施設における車籍地調査、ヒアリング調査 等 国道1号浜松バイパス検討業務 4,558 千円 遠州大橋無料化後の影響を踏まえた渋滞解消及び渋滞削減対策の検討 遠州大橋無料化後の交通状況分析、利用者に対するヒアリング調査 等 (仮称)浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務 3,000 千円 求められる機能や波及効果を考慮した接続点(IC等)の整理 ヒアリング調査、接続点(IC等)及び必要な整備内容の検討 等

事業内容位置図



交通事故ワースト1脱出事業

土木部道路企画課
電話: 457-2232

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	646,400	146,950	129,300	0	370,150

※交通安全施設等整備・修繕事業 国交付金事業 857,000 千円の一部、国県道単独事業 713,566 千円の一部、市道単独事業 1,456,307 千円の一部の合計

目的	交通事故発生件数が多く、かつ重大事故に繋がる危険性の高い交差点における交通事故未然防止策や、区画線の修繕及び緊急性の高い通学路の安全対策を実施することにより、交通事故ワースト1からの脱出を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市の人身交通事故件数は、人口10万人当たりで政令指定都市中9年連続ワースト1であり、平成27年度から平成32年度までの取組として、交通事故ワースト1脱出作戦を実施している。 対策実施前の平成26年と比較して、平成30年の人身交通事故件数は1,345件減少(15%減)した。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 交差点リフレッシュ事業 100,000 千円 道路法定外表示(止まれ)の設置、区画線更新 約4,000箇所 交差点等事故削減対策 129,000 千円 交差点コンパクト化、注意喚起看板設置 幹線道路における事故危険箇所対策 281,900 千円 交差点改良、注意喚起(追突注意等)及び速度抑制(ドットライン)の路面表示 生活道路等における安全対策、ゾーン30対策 50,000 千円 交差点カラー化、狭窄、ランプ設置 通学路安全対策 70,000 千円 グリーンベルト設置や側溝改良 自転車走行空間等整備事業 15,500 千円 自転車ピクトグラム、矢羽根型路面表示の設置



道路法定外表示(止まれ)の設置



交差点改良、追突注意等の路面表示による注意喚起



通学路におけるグリーンベルト設置

道路照明灯LED化更新事業

土木部道路企画課
電話: 457-2232

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	247,500	96,250	86,400	0	64,850

目的	道路照明灯のLED化により、維持管理コストの縮減並びにCO2排出ガス削減等の環境負荷の低減を図るとともに、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を実施する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力が少なく環境負荷の低減につながるLED照明灯の開発・普及が加速。 平成29年4月に改定した「浜松市地球温暖化対策実行計画」では、市役所が属する民生・業務部門の温室効果ガス排出量を、平成42年度に平成25年度比で46%削減とすることを目標としている。
事業内容	<p>1 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 全12,322基（水銀灯2,881基、高圧ナトリウム灯6,497基、その他2,944基） 市中心部や交通量の多い幹線道路等で実施 更新対象全てをLED照明灯に交換した場合のコスト削減効果は、約4,800万円/年 <p>2 平成31年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 810基を更新 平成31年度までのLED化更新基数3,360基、進捗率27.3%（見込）

照明灯LED化の完了した市役所前



灯具(現状)



LED灯具交換



三遠南信自動車道関連整備事業

土木部道路企画課
電話:457-2432

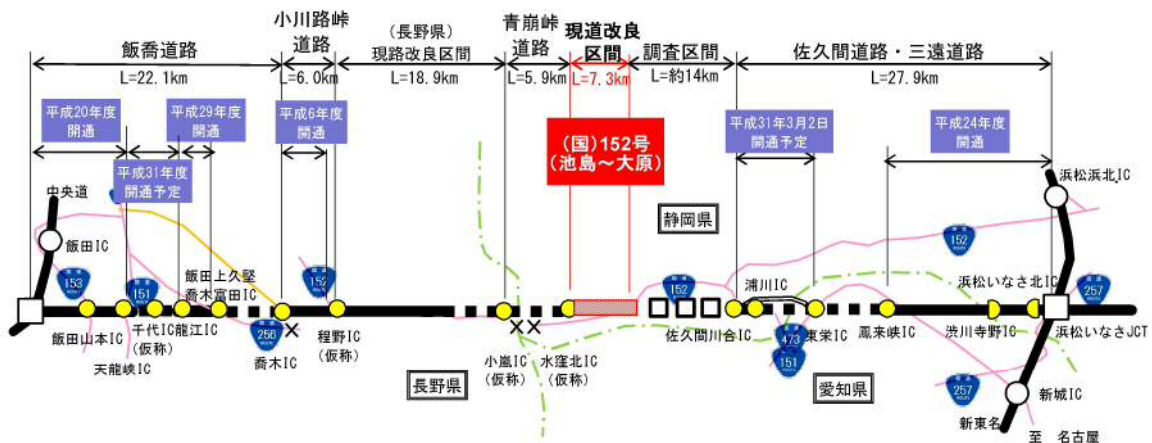
(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	2,029,000	486,200	1,258,000	0	284,800

※三遠南信自動車道関連整備事業 国交付金事業 884,000千円、単独事業 145,000千円、国直轄道路事業(負担金) 1,062,000千円の一部の合計

目的	三遠南信自動車道の早期全線開通のため、直轄事業の進捗に必要な支援及び現道改良区間の整備について、国と一体となって事業の推進に努める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年3月に(仮称)水窪IC～佐久間川合IC区間は国直轄事業による別線整備、(仮称)水窪北IC～(仮称)水窪IC区間は浜松市による国道152号の現道改良とし、早期の効果発現を目指すこととなった。 佐久間道路の佐久間川合ICから東栄IC間は、平成31年3月供用開始予定。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 国道152号(池島～大原)(現道改良区間) 1,006,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 11号橋(天竜区水窪町奥領家)の上部工と10号橋(天竜区水窪町奥領家)の下部工。 平成30年度末時点の用地取得率は約42%。 佐久間道路関連等(直轄事業関連事業) 23,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 供用後の佐久間道路に関連する道路整備及び青崩峠道路の工事着手に伴う現道改良区間やICアクセス道路の整備。 国直轄道路事業(負担金) 1,000,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 国が施工する国道474号青崩峠道路及び国道474号(仮称)水窪IC～佐久間川合IC間道路の工事に対し、負担金を支出(負担割合1/3)。

事業概要図



原田橋整備事業

土木部道路保全課

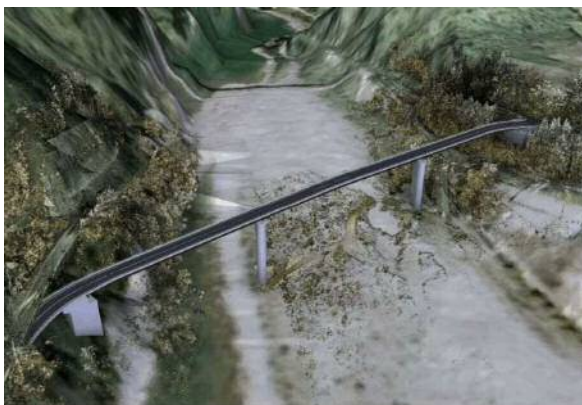
電話:457-2425

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	691,000	313,500	230,800	2,554	144,146

※道路維持修繕事業 国交付金事業 3,531,818 千円の一部、長寿命化推進単独事業 963,600 千円の一部の合計

目的	平成 27 年 1 月に発生した天竜川右岸斜面崩壊により落橋した国道 473 号原田橋について、平成 31 年度末の供用を目標に新橋の整備を進め、地域住民及び道路利用者の安全安心な生活を一日も早く確保する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 4 月に吊橋のメインケーブルの一部が破断したことに伴い、橋の架け替え工事を実施していたが、平成 27 年 1 月 31 日に天竜川右岸の斜面崩壊により新原田橋が落橋した。 平成 27 年 7 月に旧橋から約 200m 下流に新新橋の整備を行う方針が決定し、平成 31 年度末の橋りょう完成を目指して工事を進めている。
事業内容	<p>1 計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業区間：天竜区佐久間町川合～中部 橋長 L=284m 総事業費：約 47 億円 事業期間：平成 27 年度～平成 31 年度 <p>2 進捗状況及び今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度 落橋した旧橋・新橋の撤去工事（平成 27 年 9 月完了） 新橋再架設工事詳細設計（平成 27 年 11 月～平成 28 年 8 月完了） 平成 28 年度 橋りょう下部（橋脚）工工事、落石対策工事、取合道路工事 等 河川内仮設道路改良工事（二輪車・大型車対応 平成 28 年 7 月完了） 平成 29 年度 橋りょう工事、擁壁工事、取合道路工事 等 ～31 年度 <p>※平成 31 年度末 橋りょう供用開始予定</p>



架橋イメージ（上空下流側から望む）



上部工架設状況（平成 31 年 1 月 11 日撮影）

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	1,992,870	1,180,300	509,600	6,750	296,220

※道路維持修繕事業 国交付金事業 3,531,818 千円の一部、長寿命化推進単独事業 963,600 千円の一部の合計

目的	市民生活の安全安心を確保するため、老朽化した橋りょう及びトンネルの計画的な点検、修繕を実施する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう、トンネル等の道路施設は、平成 24 年の中央道笹子トンネル天井板落下事故を受けた道路法改正（平成 25 年 9 月施行）等により 5 年に一度の定期点検が法定化された。 点検結果が健全度判定区分Ⅲ（早期措置段階）の橋りょう、トンネル等は、次回点検まで（5 年以内）に修繕を実施する必要がある。
事業内容	<p>1 点検 平成 30 年度に全ての点検が完了し、平成 31 年度は 2 巡目（平成 31～35 年度）に入る。</p> <p>(1) 橋りょう法定点検 259,000 千円 平成 31 年度は 1,174 橋の点検を実施（全体約 5,900 橋のうち約 20%）。</p> <p>(2) トンネル法定点検・計画策定 20,000 千円 平成 31 年度は 10 か所の点検を実施（全体 44 か所のうち約 23%）。</p> <p>2 法定点検を受けた修繕</p> <p>(1) 健全度判定区分Ⅲ橋りょうの修繕 1,653,870 千円 平成 31 年度は 53 橋の修繕を完了し、平成 27 年度の判定区分Ⅲ橋りょう修繕を完了。</p> <p>(2) 健全度判定区分Ⅲトンネルの修繕 60,000 千円 平成 31 年度は 3 か所の修繕を実施し、2 か所の修繕を完了。</p>



点検車による点検状況



橋梁修繕実施状況
(市道和合 121 号線 1 号橋)

橋りょう耐震補強事業

土木部道路保全課
電話: 457-2425

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	394,000	164,833	93,100	0	136,067

目的	緊急時の避難路、運搬路の安全確保のため、緊急輸送路や跨線橋等における耐震補強対策を実施し、安全な輸送路の確保に努める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・「大規模地震対策特別措置法」に基づく「東海地震に係わる地震防災対策強化地域」として県下全域が指定されている。 ・平成 20 年度から緊急輸送路上の橋長 15m 以上で橋脚を有する橋りょう、跨線橋、跨道橋の計 104 橋を優先して耐震補強工事を進めている。
事業内容	<p>1 耐震補強工事（国交付金事業） 230,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道細江舞阪線（伊左地橋） ・ 国道 152 号（横山橋） ・ 県道袋井春野線（青洞橋） ・ 進捗状況： 92%（96 橋／104 橋 残 8 橋） ※平成 31 年 3 月末見込み <p>2 落橋防止対策工事（県補助事業） 85,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道植松和地線（御前谷橋） ・ 市道安松 15 号線（安松大橋） <p>3 耐震補強設計等（単独事業） 79,000 千円</p> <p>耐震補強設計や国交付金事業の附帯工事など</p>



耐震補強実施状況
(国道 362 号川上橋)

〈拡充〉土木防災情報システム運営事業

土木部河川課
電話:457-2452

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	45,014	0	0	0	45,014

目的	雨量、水位、河川カメラ映像などの情報を迅速・確実に収集し、大雨時の初動対応の迅速化など防災力の強化を図るとともに、最新情報を市民へ提供し、市民生活の安心安全を確保する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 近年、台風の大型化や局地的集中豪雨により全国各地で浸水被害が増加しており、市内でも浸水被害が広く発生している。 市では、関係機関が連携し、効果的かつ戦略的に浸水被害を軽減するため「浜松市総合雨水対策計画」の策定を進めており、その中で重点対策エリアを設定している。
事業内容	<p>1 (拡充) 水位計追加設置による河川監視の強化 9,630 千円 市が管理する二級河川に水位計を追加設置し、河川監視を強化するとともに、最新の水位情報を市民へ提供する。 対象河川：九領川（西区）、北裏川（東区）、権現谷川（中区）、御陣屋川（浜北区）</p> <p>2 重点対策エリアへの河川等監視カメラ設置 4,500 千円 「浜松市総合雨水対策計画」において優先的に浸水対策を行う重点対策エリアの河川に監視カメラを設置し、大雨時の状況把握を行う。</p> <p>3 (新規) 無線回線による災害情報収集 1,100 千円 タブレットパソコンを各土木整備事務所に配備し、被災現場の状況を迅速に収集し共有することにより、被災情報をすみやかに市民へ提供する。</p>



市内の浸水状況



水位計



監視カメラ

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	14,461	0	0	0	14,461

※関連課 市民部文化財課 (電話:457-2466)

※景観形成事業 14,461 千円

目的	本市における歴史的建造物及びその周辺市街地と伝統行事や祭礼などが一体となった「歴史的風致」の維持及び向上を図るため景観形成事業において「浜松市歴史的風致維持向上計画」を策定する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史まちづくり法が平成 20 年に施行され、歴史的風致維持向上計画を策定し、認定を受けることで、国から重点的な支援を受けることが可能となった。 ・ 平成 29 年度に二俣城跡及び鳥羽山城跡が国史跡に指定されたことを受け、平成 30 年度に「歴史まちづくり基本方針」を策定した。
事業内容	<p>1 歴史的風致維持向上計画の策定 11,066 千円 歴史的風致形成の背景整理、重点区域の設定、文化財の保存又は活用に向けた管理計画策定、パブリックコメントの実施 ※国への計画認定申請を平成 32 年度に予定</p> <p>2 歴史まちづくりシンポジウムの開催 1,803 千円 歴史文化資産を活用したまちづくりに向けての機運を醸成する シンポジウムの概要 (予定) 時期：平成 32 年 1 月～3 月 場所：市内中心部 (JR 浜松駅周辺) 内容：基調講演及びトークセッション「浜松市の歴史まちづくりに向けて」</p>

【市内の歴史的風致の例】



二俣城跡 (国指定史跡)
※歴史上価値の高い
建造物



二俣まつり (浜松地域遺産認定)
※地域における固有の歴史及び
伝統を反映した人々の活動

〈新規〉 JR 弁天島駅構造物調査事業

都市整備部交通政策課
電話: 457-2441

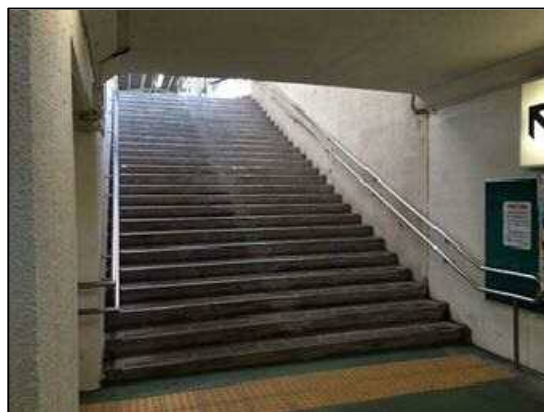
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	13,200	0	0	0	13,200

※総合交通計画推進事業 31,434 千円の一部

目的	<p>浜名湖観光圏の玄関口である JR 弁天島駅において、子供から高齢者、障がいのある人まで、安心して訪れることができるよう、同駅のバリアフリー化に向けた構造物調査を行う。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 弁天島駅を含む浜名湖周辺地域では、平成 26 年 6 月に「浜名湖観光圏整備計画」を策定し、観光客宿泊数の増加、来訪者満足度の増進を図る取り組みを進めている。 ・ 弁天島駅の完成は昭和 35 年と古く、バリアフリー化の検討にあたって、駅の構造等の不確定要素が多いため、調査を実施する必要がある。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 現況調査 エレベーターの設置可否を検討するための基礎調査 (1) JR 弁天島駅自体の構造物調査 (2) 土質を把握するためのボーリング調査 2 調査検討 調査結果を踏まえ、今後の方針や事業手法を検討

JR 弁天島駅



バス退出路線における代替手段

都市整備部交通政策課
電話: 457-2441

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	124,931	0	0	216	124,715

※バス交通等対策助成事業 285,227 千円の一部

目的	北遠本線、阿多古線、渋川線のバス路線を運営する民間事業者から、平成 31 年 9 月末日をもって退出する意向が示されている。代替となる交通事業者へ運行を委託し、退出後の公共交通を確保する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> バス路線を運営する民間交通事業者から、北遠本線、阿多古線、渋川線の一部区間の 3 路線について、平成 31 年 9 月末日での退出意向が示された。 北遠本線は総合交通計画において準基幹路線に位置づけられる路線であり、阿多古線及び渋川線についても地域における重要な路線である。
事業内容	<p>平成 31 年 10 月以降の退出路線の代替手段 (予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 北遠本線: 交通事業者への新規委託 25,696 千円 阿多古線: 交通事業者への新規委託 17,364 千円 渋川線: 遠鉄タクシー(株)へ継続委託 16,736 千円 <p>※既存の「いなさみどりバス」の増便等により対応</p>

退出意向路線図



鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業

都市整備部交通政策課
電話:457-2441

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	29,667	0	0	0	29,667

目的	交通事業者の鉄道駅バリアフリー化を支援するため国と協調した助成を実施し、鉄道利用者の安全性・利便性の向上を図る。															
背景	ホーム転落事故等を未然に防ぐため、全国的に転落防止対策を含めたバリアフリー化が求められている。															
事業内容	<p>1 補助対象事業：バリアフリー化設備整備事業</p> <p>2 補助率：国 1/3、市 1/3（事業者負担 1/3）</p> <p>3 交付予定先：遠州鉄道株式会社</p>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>駅名</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> <th>市負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遠州病院駅</td> <td>ホーム嵩上げ、転落防止柵、内方線付点状ブ ロック設置</td> <td>54,000 千円</td> <td>18,000 千円</td> </tr> <tr> <td>さぎの宮・小林・ 芝本駅</td> <td>転落防止柵設置</td> <td>35,000 千円</td> <td>11,667 千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>89,000 千円</td> <td>29,667 千円</td> </tr> </tbody> </table>	駅名	事業内容	総事業費	市負担額	遠州病院駅	ホーム嵩上げ、転落防止柵、内方線付点状ブ ロック設置	54,000 千円	18,000 千円	さぎの宮・小林・ 芝本駅	転落防止柵設置	35,000 千円	11,667 千円	合計		89,000 千円
駅名	事業内容	総事業費	市負担額													
遠州病院駅	ホーム嵩上げ、転落防止柵、内方線付点状ブ ロック設置	54,000 千円	18,000 千円													
さぎの宮・小林・ 芝本駅	転落防止柵設置	35,000 千円	11,667 千円													
合計		89,000 千円	29,667 千円													

参考：別駅の整備例



(整備前)



(整備後)



(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	2,505,000	1,194,000	1,074,600	0	236,400

目的	JR 浜松駅北口に近接する立地を活かし、政令指定都市として個性と風格ある「浜松の顔」を創出するため、市街地再開発事業により土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、多様な都市機能を持つ拠点を整備し、中心市街地の活性化に寄与する。												
背景	当地区は、先行開発された B、C 地区より駅前側に位置する未開発の地区。												
事業内容	<p>1 事業概要 (1) 事業位置 中区旭町・板屋町地内 (2) 施行者 旭・板屋 A-2 地区市街地再開発組合</p> <p>2 施設概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A-1 地区</th> <th>A-2 地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区面積</td> <td>約 2,200 m²</td> <td>約 7,800 m²</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約 8,000 m²</td> <td>約 38,300 m²</td> </tr> <tr> <td>主要用途</td> <td>ホテル、店舗、業務施設、駐車場</td> <td>住宅、店舗、業務施設、駐車場</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 竣工時期 平成 31 年度 (A-1 及び A-2 地区) ※A-1 地区は平成 30 年度予算の繰り越しにより実施。</p>		A-1 地区	A-2 地区	地区面積	約 2,200 m ²	約 7,800 m ²	延床面積	約 8,000 m ²	約 38,300 m ²	主要用途	ホテル、店舗、業務施設、駐車場	住宅、店舗、業務施設、駐車場
	A-1 地区	A-2 地区											
地区面積	約 2,200 m ²	約 7,800 m ²											
延床面積	約 8,000 m ²	約 38,300 m ²											
主要用途	ホテル、店舗、業務施設、駐車場	住宅、店舗、業務施設、駐車場											

位置図、パース



常盤町西街区優良建築物等整備支援事業

都市整備部市街地整備課
電話: 457-2342

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	358,000	179,000	0	0	179,000

目的	遠州鉄道の遠州病院駅前の立地を活かし、「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく中心市街地共同住宅供給事業の認定を伴う優良建築物等整備事業により、土地利用の高度化、市街地環境の向上及び都心居住の推進を図り、中心市街地の活性化に寄与する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、遠州鉄道の遠州病院駅に近接している。 ・平成28年11月、中心市街地の活性化に関する法律第22条に基づく中心市街地共同住宅供給事業の認定を受けた。
事業内容	<p>1 事業概要</p> <p>(1) 事業位置 中区常盤町地内</p> <p>(2) 施行者 大和ハウス工業株式会社静岡支店、株式会社スズキビジネス</p> <p>2 施設概要</p> <p>(1) 敷地面積 約 3,400 m²</p> <p>(2) 延床面積 約 18,200 m²</p> <p>(3) 主要用途 住宅、都市福利施設、駐車場</p> <p>3 竣工時期 平成31年度</p>
位置図、パース	
 <p>The image contains two parts: on the left, a detailed street map of the area around the 'Tochizu Hospital Station' (遠州病院駅) with a red box and arrow highlighting the 'Jozecho West Block' (常盤町西街区) project site. On the right, a 3D architectural rendering of a modern, multi-story apartment building with a facade of light-colored panels and blue-tinted glass windows.</p>	

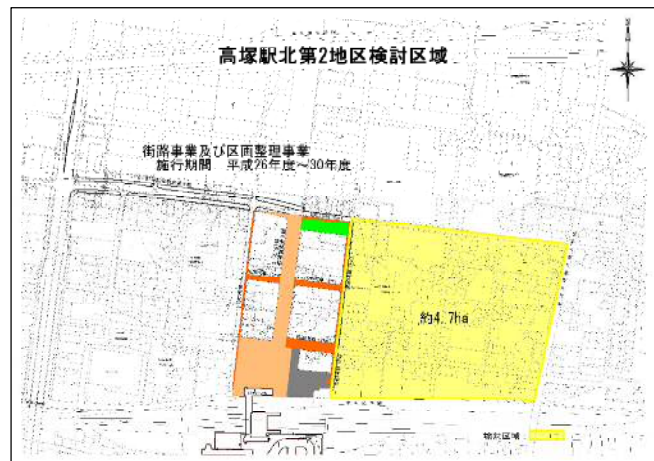
土地区画整理等調査事業

都市整備部市街地整備課
電話:457-2366

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	74,272	0	0	0	74,272

目的	<p>浜北中央北地区、高塚駅北第2地区における市街地整備事業について、事業化に必要なとなる各種調査や事業の可能性を検討する。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・浜北中央北地区について、平成28年9月に浜北中央北土地区画整理組合設立準備委員会より「組合等土地区画整理事業技術援助等申請書」が提出され、本市が技術援助することを決定。 ・高塚駅北第2地区について、平成28年7月に高塚町まちづくりの会、可美地区自治会連合会他2団体の連名により高塚駅北第2地区土地区画整理事業の要望書が提出された。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 浜北中央北地区土地区画整理事業 45,200千円 (1) 施行者 土地区画整理組合を予定 (2) 施行面積 17.7ha (3) 事業期間 平成33年度から平成42年度まで(予定) 2 高塚駅北第2地区土地区画整理事業 21,440千円 意向調査、権利調査、事業計画作成、都市計画決定資料作成 3 西都土地区画整理事業 5,000千円 公共事業事後評価等業務



天竜川駅周辺整備事業

土木部道路企画課

電話:457-2375

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	145,000	37,000	43,200	0	64,800

目的	天竜川駅周辺や駅アクセス道路などの整備により、公共交通利用の結節機能の向上を図るとともに、周辺地域住民の日常生活における利便性を高め、暮らしやすい地区環境を創出する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・旧駅舎はバリアフリー施設が未整備であり、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに対応した駅舎の整備も、長年、地域住民から要望を受けてきた。 ・上記課題に対応するため、駅自由通路の新設及び橋上駅舎化整備を実施し、平成 29 年 9 月に供用開始した。
事業内容	<p>1 事業</p> <p>(1) 天竜川駅前線及び南北駅前広場整備 80,000 千円 駅前広場 平成 31 年夏供用開始予定</p> <p>(2) 南口アクセス道路詳細設計及び用地調査等 65,000 千円</p> <p>2 スケジュール</p> <p>平成 28 年度 自由通路新設及び橋上駅舎化工事</p> <p>平成 29 年度 自由通路及び橋上駅舎供用開始 (9 月)、南北駅前広場整備</p> <p>平成 30 年度 仮駅舎撤去、南北駅前広場整備等</p> <p>平成 31 年度 天竜川駅前線及び南北駅前広場整備 南口アクセス道路詳細設計及び用地調査</p>



完成イメージ (北口)



完成イメージ (南口)

〈拡充〉 館山寺総合公園整備事業

都市整備部緑政課
電話:457-2586

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	527,629	190,458	256,900	43,105	37,166

※館山寺総合公園運営事業 一般整備事業 527,629 千円

目的	館山寺総合公園（フラワーパーク）の開園 50 周年に向け、老朽化施設の改修や、ユニバーサルデザイン（以下 UD）対応など、より満足度の高い施設とするための整備を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーパークは平成 32 年度に開園 50 周年を迎える。 ・給排水設備等の老朽化や来園者が安全で快適に利用できる UD 対応が課題。
事業内容	<p>開園 50 周年に向け、老朽化施設の改修や、UD 対応のための工事等を実施。</p> <p>1 UD 対策 249,110 千円 (1) UD 昇降機新設工事 249,110 千円</p> <p>2 魅力の向上 216,201 千円 (1) 噴水装置改修及び池防水塗装工事 183,333 千円 (2) モザイカルチャー新設作品設計制作業務委託 22,336 千円 (3) モザイカルチャー既存作品撤去工事 6,980 千円 (4) 浜名湖花博 15 周年事業（大型盆栽を用いた箱庭展示） 3,552 千円</p> <p>3 老朽化施設の更新 56,353 千円 (1) 園路舗装改修工事 26,538 千円 (2) 高架水槽改修工事 10,185 千円 (3) 八つ橋改修工事 19,630 千円</p>



UD 昇降機イメージ



噴水イメージ



モザイカルチャー既存作品



八つ橋現況

フラワーパーク50周年 整備事業一覧

館山寺総合公園（浜松総合公園）整備図

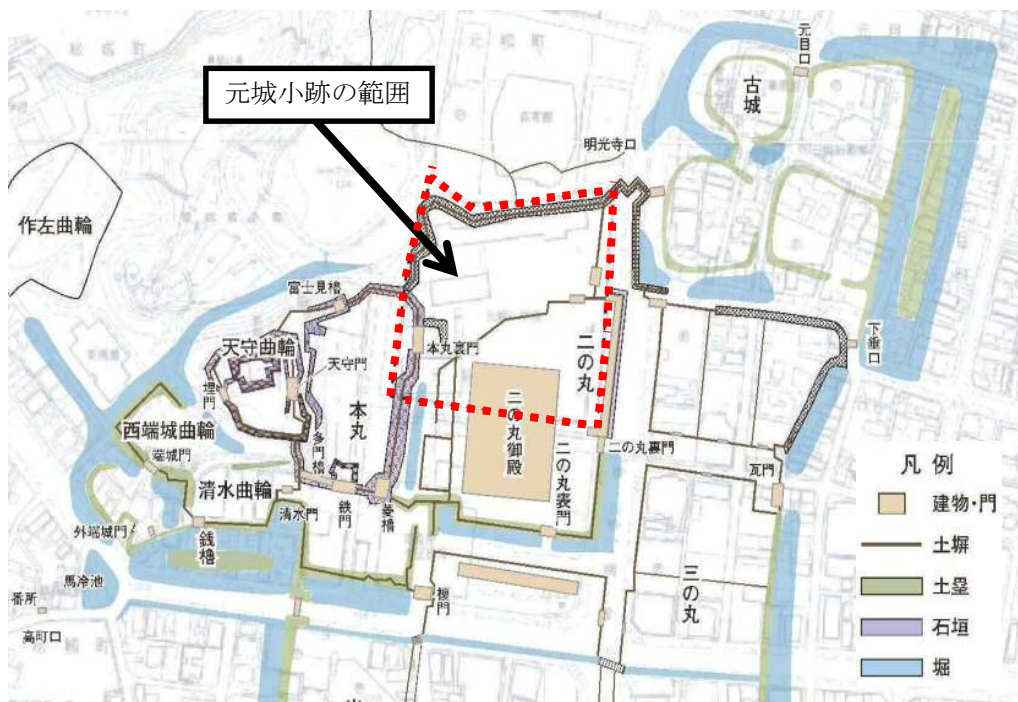


(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	63,008	0	0	0	63,008

※関連課 市民部文化財課 (電話:457-2466)

目的	平成26年2月に策定・公表した浜松城公園長期整備構想に基づき、埋蔵文化財包蔵地である元城小学校跡地について遺構調査を行い、遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年2月に浜松城公園長期整備構想を公表した。 旧元城小学校の校舎及び体育館の解体が、平成30年度に完了する見込み。
事業内容	<p>1 概要 かつて浜松城二の丸御殿が存在した元城小学校跡地について、遺構残存状況を確認(約3,100㎡)</p> <p>2 実施内容 (1) 測量及び基準点の設置 (2) 現場事務所の設置 (3) 航空写真撮影 (4) 発掘調査 磯田道史氏を招いた発掘体験会の実施</p>



染地台多目的広場整備事業

都市整備部公園課

電話: 457-2351

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	80,059	0	0	0	80,059

※公園整備事業 単独事業 207,371 千円の一部

目的	浜北区染地台にある遊休地について、幅広いジャンルに対応可能な多目的広場として整備する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所は住宅地に囲まれた広大な土地であり、有事の避難場所としても利用が可能。 ・平成30年度に実施設計等を行った。
事業内容	<p>平成30年度: 多目的広場整備にかかる測量、実施設計</p> <p>平成31年度: 整備工事 A=3.0ha</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水設備 ・雨水排水設備 ・汚水排水設備 ・電気設備 (照明灯) ・広場 (ダスト舗装・As 舗装・階段等) ・管理施設 (フェンス・車止め) ・トイレ



〈新規〉江之島地区ビーチスポーツ施設整備事業

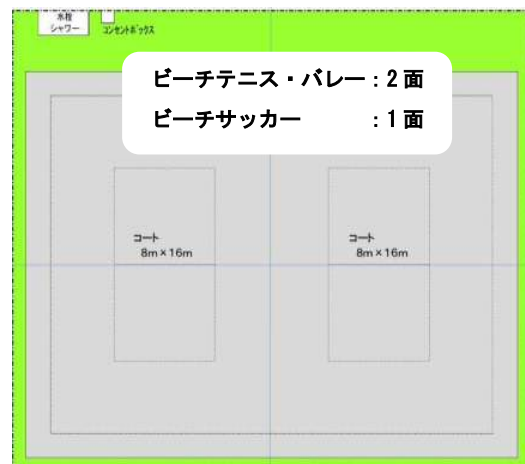
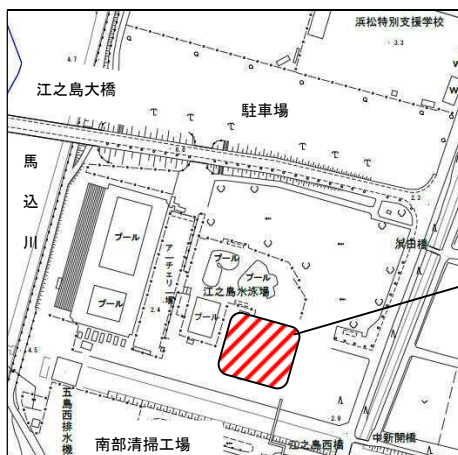
都市整備部公園管理事務所
電話:473-1829

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	74,283	11,340	0	0	62,943

※(新規)ビーチスポーツ施設整備事業 71,123千円、遠州灘海浜公園維持管理事業 47,297千円の一部の合計

目的	「ビーチ・マリンスポーツの聖地」としての独自のブランド価値を創出し、大会・合宿の誘致やアクティビティ体験等の魅力発信により誘客を図る一環として、遠州灘海浜公園江之島地区においてビーチスポーツ施設の整備を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市は、遠州灘、浜名湖、天竜川などの水環境に恵まれ、フィッシングやサーフィンなどが盛んな上、近年はビーチバレーなどのスポーツ大会が開催されている。 「ビーチ・マリンスポーツの聖地」としての効果の早期発現として、国際バレーボール連盟の基準に準拠したビーチスポーツコート of 整備を進める。
事業内容	<p>1 ビーチスポーツコート整備 67,450千円</p> <p>(1) 施設規模:1,600㎡</p> <p>(2) 整備面積:1,280㎡(ビーチテニス・バレー2面、ビーチサッカー1面利用)</p> <p>(3) 付帯設備:選手用シャワー、放送用コンセントボックス</p> <p>(4) 規格:国際バレーボール連盟基準に準拠したコート(白砂)</p> <p>2 ビーチスポーツ拠点施設としての整備検討 3,673千円</p> <p>今後、ビーチスポーツの拠点施設としての整備を検討するため、老朽化した既存50mプール及び観客席等の解体設計</p> <p>3 その他維持管理経費 3,160千円</p> <p>平成31年7月供用開始(予定)後の維持管理経費</p>



動物園いのちのふれあいゾーン整備事業及び
動物園内給排水設備等改修事業

都市整備部動物園

電話:487-1122

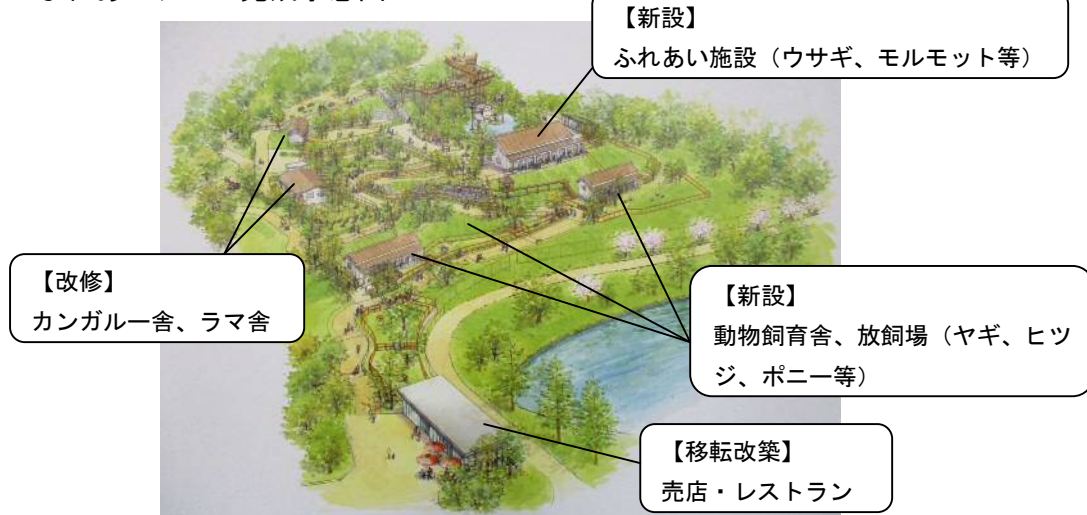
(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	145,082	23,738	0	0	121,344

※いのちのふれあいゾーン整備事業 63,223 千円、一般整備事業 112,919 千円の一部の合計

目的	入園者の増加や教育的効果の向上を図るため、エントランス付近にいのちのふれあいゾーンを整備すると共に、建設から 34 年が経過し、老朽化が進む汚水処理施設、給排水等配管及び電気設備等の対策を進める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度に策定した動物園再生基本計画では、「いのちの教育」を動物園の最大の柱としており、施設の整備に向け平成 29 年度に基本設計及び地質調査、平成 30 年度に実施設計を実施した。 動物園内給排水設備は、各獣舎の散水やプールの給水等、安定した水質や必要水量を確保するための基盤施設であるが、老朽化が進行している。
事業内容	<p>1 いのちのふれあいゾーン整備事業 63,223 千円</p> <p>(1) 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 園路の改修 動物飼育舎 2 棟、放飼場の新設 ふれあい施設の移転改築 レストラン・売店移設 カンガルー舎、ラマ舎改修 <p>(2) 竣工時期 平成 32 年度</p> <p>2 動物園内給排水設備等改修事業 81,859 千円 図面や全体工程表等の作成及び実施設計</p>

いのちのふれあいゾーン完成予想図



〈新規〉市営住宅湖東団地再生計画策定事業

都市整備部住宅課
電話: 457-2460

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	9,900	4,455	0	0	5,445

※市営住宅建設事業 792,570 千円の一部

目的	市営住宅湖東団地の縮小と再生を効率的、効果的に進めるにあたり、集約建替を軸に再生計画を作成し、あわせて民間活力の導入による事業コストの縮減や跡地利用の実現性を検証する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会を踏まえ、市営住宅の供給戸数を適正化する必要がある。 ・湖東団地は昭和 46～48 年の建設後 45 年以上が経過しており、老朽化が著しい。 ・効率的な管理運営への対応も含め、早急に団地の方向性を示す必要がある。
事業内容	<p>1 集約建替の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部改修を実施した 3 棟は維持しつつ、将来の団地推計人口に応じ集約建替する。 ・財政的メリット、業務の効率化を図るため、民間活力の導入を目指す。 ・若年層から高齢層まで様々な世帯の入居を促し、コミュニティバランスを再生する。 ・すべての入居者が快適に生活できるようユニバーサルデザインを導入する。 <p>2 再生計画策定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替え及び改修の対象棟や実施手法、既存入居者の移転計画、余剰地活用・処分について、再生計画を策定する。 ・前提条件の整理、概略事業計画の作成、民間活力活用手法等の抽出、民間事業者や入居者等の意向調査、VFM の算定、余剰地活用・処分方法の検討。

